

b10xxxxx 未来太郎
指導教員：函館一郎

How to Write Manuscripts for Midterm Report

Taro MIRAI

[illegible]

キーワード：北海道、函館、亀田中野、公立はこだて未来大学

[illegible]

Keywords: Hokkaido, Hakodate, Kamedanakano, FUN

1 背景と目的

このサンプルは情報システムコースにおける
中間報告書の様式について説明したものである。
必ずしもこの雛形を使う必要はないが、仕上がり
イメージはできる限りこの雛形にあわせること。

用紙サイズは A4、向きは縦とし、上下の余白は 30mm、左右の余白は 25mm とする．本文には明朝体と Times New Roman を用いる．ただし、タイトルや章節の見出し、図表のキャプションはゴシック体とする．タイトルは 14 ポイント、氏名と章の見出しは 12 ポイント、節の見出しは 11 ポイント、その他は 10 ポイントとする．また、和文タイトルから英文キーワードまでは 1 段、本文は 2 段で構成とし、1 段のセクションは 42 文字× 45 行、2 段のセクションは 20 文字× 45 行とする．

なお、章立てはあくまでも参考であり、これに限らない。

2 ○○コースにおける本研究の位置づけ

中間報告書中のいずれかの場所に、学生所属
コースのカリキュラム・ポリシーに基づき、本
研究の位置づけを述べる。

未来大学のカリキュラム・ポリシー <https://www.fun.ac.jp/curriculum-policy> のうち、学生所属コースの項に書かれている卒業研究に関する記述を参照。

3 関連研究

中間報告書の文量は 4 ページとする。学籍番号をファイル名とした PDF ファイル 1 つにまとめた形で作成すること。提出するファイル名は b10xxxxxx.pdf とする。

句読点は「,」,「.」とする。「、」,「。」は使用しない。アブストラクトなど英文表記の部分については、スペルチェックプログラムによるチェックをする。

4 提案する理論

4.1 数式

数式による記述が必要な場合は、式番号を適切に参照しながらまとめること。

4.2 図・写真

読者の理解を助けるため、図や表を効果的に利用すること。図のキャプションは

図 1 ○○○○

のように、図の下に記す。表のキャプションは

表 1 ○○○○

のように、表の上に記す。

5 実験と評価

6 考察

7 結言

参考文献

- [1] ○○△△, システム情報科学会論文誌, 2, 13-19, 2002.
- [2] A.B.Cdddddd, J. Systems Information Science, 11, 1145-1159, 2001.
- [3] ○○×× , □□△△, システム情報科学, ☆☆出版, 1999, 20-21.
- [4] E.Fggg and H.Ijjj, Electrical Engineering, KKPress, 2003, 281-284.